PL病院ニュース
NO.270
2019年9月号
毎月1日発行

外科の紹介

2019年4月より常勤医師が3名増員し、常勤医師8名体制で診療を行っています。

●腹腔鏡下手術を積極的に行っています

当院では、開腹手術と比較して患者さんの体に負担の少ない、やさしい治療を提供することを目的として腹腔鏡下手術を積極的に行っています。傷が小さく、出血量が少ないため、術後の痛みの軽減、早期回復を可能にするメリットがあります。手術には3D（3次元）画像システムを導入しており、テレビモニター上でも奥行きが把握しやすくなり、拡大視できる効果とあいまって非常に精緻（せいち）な手術が可能となっています。昨年1年間に当院で行った手術での腹腔鏡下手術の割合は、胃がん手術90%・大腸がん手術では約98%、胆石・胆のう炎手術では98%でした。

●肝臓・膵臓・胆道などのがんに対する手術にも力をいれています

今年の4月から肝がん、膵がん、胆道がんなどを中心に手術を経験してきた医師が常勤医として加わり、肝胆膵領域の手術にも積極的に取り組んでおります。

●小児の外科手術も行っています

当院には小児外科医も在籍しており、赤ちゃんの痔瘻（じろう）や15歳までの先天性消化器疾患、鼠径（そけい）ヘルニア、腸重積（ちょうじゅうせき）、虫垂炎などの急性疾患にも対応しています。

●大阪府がん診療拠点病院に指定されています

「大阪府がん診療拠点病院」とは、専門的ながんの診療機能の充実を図るため、がん医療水準の向上を図るとともに、安心かつ適切ながん医療を提供することを目的に大阪府が指定した病院です。当院が属する南河内二次医療圏（富田林市・河内長野市・大阪狭山市・羽曳野市・藤井寺市・松原市・太子町・河南町・千早赤坂村）で診療所と連携し、質の高いがん診療を提供できるよう努めております。

塚本（つかもと）　義貴（よしたか）　部長

須浪（すなみ）　毅（たけし）　部長

中澤（なかざわ）　一憲（かずのり）　副部長

松本（まつもと）　哲平（てっぺい）　医長

吉田（よしだ）　英樹（ひでき）　医長

荒木（あらき）　麻利子（まりこ）　副医長

北山（きたやま）　紀州（きしゅう）　医師

中尾（なかお）　照逸（てるとし）　医師

●さいごに

外科医の人数が増えたことにより急性腹症に対する緊急手術にも対応しやすくなりましたので、救急医療にも力を注いでいきたいと存じます。患者様によりよい医療を提供できるように、これまで以上に努力してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。